

・聖霊降臨主日

泉のほとり

今月の詩編「第二十三編」

主は羊飼ひ、

わたしには何も欠けることがない

主はわたしを青草の原に休ませ

憩いの水のほとりに伴ひ

魂を生き返らせてくださる。



はい、食べました

神さまが天地を造られ、あらゆるよいもので満ちたし、最後に人を造られ、造られたすべてをご覧になって非常によいとされました。すべての生き物が血を流すこともない、平和と秩序のある世界でした。最初の人アダムのために、主なる神は女を造られたのですが、アダムは女を「私の骨の骨、肉の肉」と見ていたのです。戒められなくても隣人を自分の体のように見ていた愛の世界でした。また、彼らは裸でしたが恥ずかしがりしなかつたのです。心も体も隠すことのない、隠し事がない、真実の世界でした。自由の世界でした。ただ一つ、主は「善と悪を知る木の実を食べてはならない。食べると死ぬ」と言われたのです。それ以外、人に禁じられていることは何一つありませんでした。

創世記3章は「その木の実を食べた話」です。蛇にそののかされ、女が木から取って食べた時には何も起こらなかったのですが、直接、神さまから命令を受けた男が食べたその時に、二人の目が開かれてしまったのです。その結果、二人は善悪（よい、悪い）を知るようになったのです。人は皆、何事においても、「よい悪い」と見て生きるものとなってしまう。隣人を自分のように愛せよ」と言われていても自分の目に「よい悪い」を先に判断し、自分の目によいと思う人を愛するのです。主が造られ、よしとされた人、生き物、天気、環境、あらゆる被造物に対し、自分の「よし悪し」と判断し、見るようになったのです。

「善悪を知る木の実」を食べた後、アダムが最初にとつた行動は自分の裸を隠すことでした。主なる神が造られたまま、そのままだが「よし」とされたのですが、アダムの目には「よくない」と見えていたのです。自分の目に「悪い」と思うものを隠すようになりました。それで、木の後ろに身を隠していたアダムに、神は「アダム、どこにいるのか」と呼びかけられたのですが、アダムは「あなたの足音を園の中で聞いたので、自分が裸であることを恐れて、身を隠しています」と答えたのです。主が「あなたが裸であることを、だれがあなたに告げたのか。食べてはならないとわた

しが命じたその木から食べたのか」と問いかけられますが、アダムは素直に「はい、食べました」と答えられません。自分の目に都合の「悪い」事実を隠して答えたのです。「私のそばにいるようにとあなたが与えてくださったこの女があつたから取って私にくれたので、食べました」と。「この女のせいで食べた」と言っています。更に「この女をくれたのはあなたです。あなたにも責任がある」とも訴えているようです。自分のよし悪しで「自分は悪くない。この女が悪い」と言っていたアダムは、もはや女を「私の骨の骨、肉の肉」と見ていません。「はい、食べました。この女に正しいことを教えなかったのも私の責任です」と、真つ直ぐに真実を見る目を失ってしまいました。

私たちの日常にもこのような対話が非常に多いのではないのでしょうか。重要なのはアダムのようにしないことです。神のことばに右にも左にも外れずに歩んでいくことです。しかし、道外れるようなことを行つたとしても、「食べたのか」という問いに真つ直ぐに答えていないアダムのようにしないことです。神さまは曲がつたことが大嫌いなお方です。自分の目に不都合でも素直に「はい、食べました」と表せることが重要です。

そして、神の御前では隠されていることは何一つありません。何事にも真実を持って近づきましょう。このような格好ではと、自らのよし悪しで神の前で身を隠し、アダムのように木の後ろにいるようなことをしてはなりません。不都合でも、格好悪くても、恥ずかしくても、惨めでも、ありのままの真実を表さなければ、神に近づけないのです。

イエスキリストはどのような者たちの救い主でしょうか。十字架の前に何もかも自分の罪ある状態を、隠さず近づいてくる者たちの救い主です。主イエスはそのように近づくる者たちに安らぎを与えられ、平和と愛、真実の世界へとお導きくださいます。

2023年度

教 会全体課題

日々聖書に聴き、

御言葉に従って歩む。

2023年度

心に刻む御言葉

生まれたばかりの乳飲み子のように、
混じりけのない霊の乳を慕い求めな
さい。これを飲んで成長し、救われるよ
うになるためです。

(ペテロの手紙一 2章2節)

懇談会について

○テーマ：これからの礼拝体制について

○日時：五月二八日(日) ペンテコステ讃美の会後

○次第 移動の身体的負担を最小限とするため、
礼拝堂↓分科会↓地下ホールとします。

・十二時三十分 開会 礼拝堂で全体会

・十二時三十二分 報告 二一日の説明会及びそれ
を受けて開かれた役員会からの報告

・十二時四十分 各部屋で小グループでの話し合い
一回礼拝とした時のメリット・デメリット、課題
や気付きについて

・十三時十分 ホールに移して再び全体会で、それ
ぞれのグループで出された意見等を共有

・十三時三十分までには閉会

※なお、懇談会での小グループは全十四班とし、
礼拝堂での全大会の後、それぞれ以下の場所に分
かれて取組んでもらいます。

(①～⑭グループの会場)

・礼拝堂 ①聖歌隊席、②側廊(オルガン側)、

③側廊(説教壇側)、

・④花嫁控室、⑤第1シオン、⑥第2・3シオン、

⑦カナン、⑧作業室、

・1階ロビー ⑨作業室側、⑩事務所側、

・地下ホール ⑪前方キッチン側、⑫後方キッチン
側、⑬前方倉庫側、⑭後方倉庫側

《今日のお知らせ》

○第二礼拝後は、ペンテコステをお祝いする「讃美
の会」を礼拝堂で行います。

○引き続き、今後の礼拝体制についての教会員 懇
談会を開きます。懇談会の詳細は上記をご覧ください。

○韓国・光州第一教会で開催されるコイノニアキャ
ンプの日程は、十月二一日(土)から二五(水)まで
です。ぜひご参加ください。参加ご希望の方は教
会事務所までお申し出ください。

○これまで感染症対策の一環として、聖餐式の司式
と執行を分けて担当してきましたが、六月からは
従来のに戻して、司式と執行を一本化して行い
ます。

○紫園香音楽伝道師は、五月二八日愛知県江南キリ
スト教会礼拝と伝道コンサートを行います。

《教会学校より》

○次週、六月四日から、子ども礼拝が始まります。
幼稚園、保育園の年代から中学生までの子どもた
ちのための礼拝です。

・場所 地下ホール

・時間 九時二十分から九時五十分
ぜひ、ご参加ください

今日の讃美歌 現代語訳

讃美歌 186番

1. 恵みの聖霊よ 私の身に宿って
恐れを取り去り 安らぎをください
2. ゆるしの御声をはっきりと聞かせ
心の重荷をおろさせてください
3. 命と力を豊かに与え
悩みに打ち勝って歩ませてください
4. 悲しみを慰め、弱きを助ける
聖霊を心に住まわせてください

今日の聖書クイズ

(問) 創世記5章で「神と共に歩み、神が取られたのでいなくなつた」と言われているのは誰でしょう？

- A アダム
B レメク
C ノア
D エノク

(答) 創世記5章21、24節を

御覧ください。



《教会事務所より》

○梅雨の季節に入る前に傘立てを整理しようと思ひます。置かれたままになっている傘に、心当たりのある方はお持ち帰りください。

《今後の予定》

- 六月 四日 「子どもの礼拝」 開始
ハイデルベルクの会第二礼拝後)
○六月一八日 定例役員会

《次週の礼拝》

- 第一礼拝 (午前9時30分)
讃美歌 讃1205番 66番
説教 「妬む心に勝つには」
聖書 創世記4章1、16節
説教者 吉村和雄 名誉牧師
- 第二礼拝 (午前11時)
讃美歌 66番 288番
説教 「はじめにことばがあった」
聖書 ヨハネ1章1、18節
説教者 黄允湜 牧師

ペンテコステ第一礼拝 (午前9時30分)

讃美歌 180番 66番
説教 「あなたに力を与える聖霊」
聖書 使徒2章1～13節(新約 P214)
司式 石川 一 兄
聖餐司式 黄 允湜 牧師・菊池 美穂子 副牧師
説教者 菊池 美穂子 副牧師

前奏曲「我ら聖霊を願わん」 J.G.ガッタル

○ 讃美歌 180番

1. はとのごと降る めぐみのみたまよ
こころをやわらげ なぐさめたまえや
 2. まことのひかりを われらをてらして
ひかりのなかをば あゆませたまえや
 3. ちちなるみかみの みまえをはなれず
つつしもうやまい いのらせたまえや
 4. いのちのみちなる 主イエスにしたがい
みあとをふみつつ すすませたまえや
 5. われらをきよめて さかえのみくにの
つきせぬめぐみを うけさせたまえや
- アーメン

○ 讃美歌 66番

1. 聖なる、聖なる、聖なるかな
三つにいまして一つなる 神の御名をば あさまだき
おきいでてこそ ほめまつれ
 2. 聖なる、聖なる、聖なるかな
神のみまに 聖徒らも かむりをすてて
ふしおがみ みつかいたちもみ名をほむ
 3. 聖なる、聖なる、聖なるかな
罪ある目には見えねども
みいつくしみの満ちたれる 神のさかえぞたぐいなき
 4. 聖なる、聖なる、聖なるかな
み手のわざなるものみなは
三つにいまして一つなる 神の大御名ほめ奉らん。
- アーメン

聖餐曲「来たれ聖餐、主なる神」 F.W.シャハ

後奏曲「(来たれ創り主なる聖霊)

によるコラール変奏曲」

M.デ ユリェル

ペンテコステ第二礼拝 (午前11時)

讃美歌 181番 186番
説教 「わたしの霊を注ぐ」
聖書 使徒2章16～22節(新約 P215)
司式 石川 一 兄
聖餐司式 黄 允湜 牧師・菊池 美穂子 副牧師
説教者 黄 允湜 牧師

前奏曲「来たれ聖霊、主なる神」 D.ブ クスファーズ

○ 讃美歌 181番

○ 聖歌隊による讃美「我らはひとつ」 S.ベサル 作曲
我らは聖霊によりてひとつ
主の愛に囲まれて ひとつとなり
主の子供となる
我らは互いに仕え合い
感謝の声あげる み名を讃え
み神を父とする
与えられし恵み分かち合い
異なる賜物ひとつにして
み言葉伝えるわざにより
我ら ひとつのものとされる
我らは聖霊によりてひとつ
主の愛に囲まれて ひとつとなり
主の子供となる
我らは互いに仕え合い
感謝の声をあげる 主を讃え
ひとつに結ばれる
父なる神 讃えん 讃えん

○ 讃美歌 186番

聖餐曲「来たれ聖餐、主なる神」 F.W.シャハ

後奏曲「(来たれ創り主なる聖霊)

によるコラール変奏曲」

M.デ ユリェル